



第59号  
H25年8月22日

発行 結城地域農業改良普及センター

TEL 0296-48-0184 FAX 0296-48-2682

HP <http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/noucenter/fukyu/yuki/>

<http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/nourinjimu/kensei/youki/index.htm>

## 地域農業活性化を目指して！ -結城地域農業三士情報交換会-



8月1日、農業三士と関係機関など46名の参加を得て「結城地域農業三士との情報交換会」が開催されました。

新任・退任三士の紹介の後、有限会社森ファームサービスの森雅美代表取締役から、農業法人による若手農業者の育成と、今後の日本農業の進むべき方向について、ご講演をいただきました。

また、情報交換では、日頃の営農に関することや各組織の活動紹介などを行い、交流を深めました。

このように、地域農業のリーダーとなる農業三士が一堂に会し情報交換を行うことで、お互いの連携を十分に図り、地域の課題解決にあたることを確認し合う絶好の機会となりました。



講演会の様子

## 親子で学ぶ！-工場・直売所視察研修-

7月23日、若手女性農業者グループ「グリーンSunwoman」を対象に農村女性大学第2回講座「工場・直売所視察研修」を実施し、女性農業者とその子供合わせて27名が参加しました。

工場視察として、キッコーマン野田工場、明治乳業守谷工場の2カ所を訪問し、女性農業者も子供達も原料から加工品が製造される過程を知り、勉強になったと満足している様子でした。

また、直売所視察として、農産物直売所「ゆめめぐり野田」を訪問しました。野田市周辺で生産が盛んな枝豆やその加工品を購入する参加者が多く、「今日の夕飯で試食する！」と嬉しそうに話す姿も見受けられました。

アンケートの結果、参加者には非常に満足していただくことができ、親子で楽しめる研修会への参加意欲が高いことがわかりました。普及センターは、グループの意見を取り入れながら、今後も支援を実施していきます。



模型を使った  
乳搾り体験

## 目指せ！健康な土づくり！-第2回農業学園アグリ講座-

7月19日、結城普及センターにおいて第2回農業学園アグリ講座を開講しました。

今回は「健康な土づくり」をテーマに、土壌の基礎知識や堆肥による土壌改良について、また土壌診断で分析できる各項目についての講義と、結城普及センター管内の土壌の種類や特徴について説明しました。

講義後の実習では、学園生が持参した土のpHとECを分析するための一連の作業を実際に行ってもらいました。測定した結果を見た学園生は、「この値なら適正な範囲だな」など講義で学んだことを早速実感していました。

普及センターは、学園生が農業を営む上で実際に活用できるような講座を今後も開いていきます。



講義



実習

## -水稲優良種子生産に向けた取り組み-

結城普及センター管内には、県内で2番目に大きな約85haの水稲の採種ほ場があります。普及センターは、優良種子の生産に向けて、関係機関と連携し、種子生産者に様々な指導を行っています。

中でも、生産ほ場の様子を直接確認する「ほ場審査」は非常に重要です。ほ場審査では、水稲の生育状況を確認しつつ、決められた品種以外の水稲がほ場に生えていないか、また、除草が適切に行われているか等、生育状況や管理状況が種子生産にふさわしいかどうかを厳しく審査し、問題があるときには改善策を指導します。

一般の水稲生産者の方に優れた種子を供給できるよう、普及センターは今後も活動を継続していきます。



ほ場審査

### 病害虫ノート



### 今年は発生多い傾向、要注意！ -ハダニ類-

ナスやキュウリ等の葉に寄生し、口針で吸汁します。被害を受けると、葉に円形白色の小斑点が発生するため、注意深く観察し、見つけ次第防除しましょう。被害がひどくなると葉が黄化し、落葉してしまいます。ハダニ類は繁殖力が強く、10日前後のサイクルで世代交代するため、多発してからの防除は困難です。

薬剤散布をする場合、葉裏にムラなく薬剤がかかるように適正な薬量を丁寧に散布しましょう。また、薬剤抵抗性がつきやすいため、同一系統の薬剤の連用は避けてください。